

いかなる弾圧をもはねのけ、全学ストで要求貫徹の日まで斗おう。

茗溪会・大学当局・国家権力の

一体となった我々の斗いへの弾

圧を許せず、勝利を我が手に!

不当検挙に抗議し、斗う隊列を

うちかためよ!

登校されたすべての教育大の学友諸君!

まず先日、茗溪会有志の名でもって行なわれた「説明会」なるもののギマン性に対しての我々の斗いの報告をまず行いたい。

我々のストライキ斗争と筑波とを意味的に切りはなし、「円満解決」の美名によって、我々の斗いを終焉させ、移転進行をほころうとするこのような動きは、茗溪会、大学当局、文部省の一体となった我々への斗いに対する攻勢の主要な環であり、このイデオロギーを父兄にふきこむことによって我々の斗いを弱めてから終結させようとしたのが昨日の私学会館における「説明会」であった。我々はこのよう「動き」に対して、この説明会が一方的であり、「学生の声もききたい」との父兄の声に聴えて、我々は一〇〇名の部隊をもって、二時から私学会館で開催予定の「説明会」に向かった。しかし、我々がそこに見たものは、五〇名の官憲「林動隊」に守られた「会場」であり、我々の発言を求める声に、茗溪会はこの林動隊の暴力をもって答えたのだ。あまつさえ不当にも「不法集会」「公安条例違反」の「理由」によって、先頭にいた一学友を我々の隊列から奪っていったのだ。我々はその後も再三再四にわたって我々の発言を求めるべく行動したのに対し、林動隊・茗溪会は、ナグルケルの暴行を加え、抗議・総括集会を用こうと市ヶ谷駅に向かった我々の隊列を歩道からひきずり出し、道路の中央であらゆる暴行を加え、二五〇名の林動隊によるサンドウィッチで清水岩公園にまでひきずるといふ弾圧を加えたのだ。主力部隊は直ちに大学にもどり、弾圧抗議の意志をこめて、総括集会を行うと共に、私学会館においては「説明会」から出てこられた父兄に、我々の斗いへの

の理解をもとめたピラをわたすとともに、話し合いを行った。

「説明会」の内容について語るならば、茗溪会の「いわゆる母校紛争の実態を教へ、同院職員に訴える」と称する「用重周到」なるパンフや、サクラズ使って、三輪前学長を切り札とした移転反対の電報を打てる攻勢にもかかわり、父兄の方は、一方の意見しか聞かないのはアンセンであるが、学生の見聞を聞こうとするフインキで、出席した保護者の一人の言葉をかき取るならば、「出席者の危言が口々にこたえられた。彼等の現代的に果たすべき責務のある学生と評議会との話し合いのフツピンカス。なく、一方約に三輪前学長を中心とする、又ストの中傷と暴力学生シンビラヤクゲへとちらがヤクサか?」という言葉がぶしつけに對する反発がかなりありました。私は、20才にもなった思想性も知性もそれなりに育った人間をこしおいて私どもを呼び出すなど、もってのほかだと悪い意見をかべにきざした。「林動隊導入も辞さない」といふ言葉には全体が反対でしたよ。等の意見が主流をしのたことが保証人の口から伝わっているし、出席した某学友の助手も同様の印象を伝えている。

学友諸君!自らの移転推進の意志を貫徹せんとする大学当局文部省の高姿勢のあらわれこそ、一学友の不当検挙であることを見つ、きりと見ると及抗議の意志を専ら貫徹の意志に転化せよ!

理学部スト実現を土台に

25日学生大会で全学スト

を!!全学ストで要求貫徹

まで斗おう!!

25日を斗う意志を総結集

の場とせよ!!

(やらへ↓)

昨日開かれた理学部学生大会は、理学部教授会と大衆団交で教授会の説理を粉砕した後、開かれたいの結果で20日までのストライキを決定した。

執行部提案	1/13	93	84	(ともに可決)
伊藤新志崎対策	1/09	127	66	(否決)
学生連提案	1/83	69	58	(可決)

20日までのスト方針の理執行部提案と無期限スト方針の対案いづれも可決も否決もされず、共通案とした学生連提案が可決され、20日学生大会で教授会メンバー排除の方針で闘いの火ぶたをきったのである。ワロ斗争の蓄積をふまえて、強固な意思の確立をなしとげることを文学部/200の名学友の名において、理学部の学友に呼びかけるとともに20日学生大会をひかえた教育学部学友、26日学生大会をひかえた理学部学友へも、我々の成列への復帰を呼びかけた。

理学部ストの実現を全学ストの地歩とせよ

大専当局の文相立化の策動の體であり、推進派の牙城・理学部ストの実現の過程は明確に、彼らの野田権策工作を学生層の力がのりこえてゆく過程であり、全国的にも理学部スト困難の「草食」をうり破つたものであり、この意義を全国的意義として確認する必要がある。

すべての学友諸君！理学部ストを突破口に全学ストを実現し、要求貫徹まで闘いぬこうではないか！
 文斗争委員、そのためにかなる努力をこまめに行いであらう。

不当逮捕された学友のためにかんぱを

すでに開うかに述べた如く、昨日の若狭会によるスト破壊策動粉砕の闘いにおいて、一名の学友がまったく不当にも逮捕された。若狭の「言い分」は、不逞会と公的条例違反の「容疑」であるが、我々の到着以前に若狭に有初隊が配備された事実を以て、この逮捕が、若狭会と国家権力の手にあつてあつかじめ仕組まれた弊害であることは明白である。いまや国家権力と一体となつていゝ若狭会が校当局に対し、圧倒的多数をもちて答えることと、若狭の手の中にあつて完全黙秘を闘つていゝ学友へのかんぱを呼びかけたい。

へスローが

策技移転阻止

調査と計上白紙撤回

MID委即時解散

対評議会大衆団交を

かちとろう

本館封鎖対策本部解体

国大協路線打破

本館封鎖を結集点に

全学ストの実現を

全学ストで要求貫徹

まで闘うぞ

全国学友との共同行動を

「国大協路線打破、学生

自治権確立、学園斗争勝

利のズローガンの下、

かちとろう